

一般社団法人日本医療機器学会
2025年度（第3回）
クリニカルエンジニアリング研究会開催のお知らせ

日時：2026年3月7日(土) 13時00分～16時30分

場所：zoom ウェビナーシステムによるWEB開催

参加費：1,000円（ただし、学生無料）

備考：事前参加申込が必要です。先着450名

申込方法：学会HP内の外部リンク先から参加お申込みください。

※本研究会に参加されると、MDIC認定の更新ポイント（10P）が取得できます。

注）当日はzoomでの参加者個々のログイン・ログアウトの視聴履歴を確認の上、ポイントを加算いたします。



主催：一般社団法人日本医療機器学会 クリニカルエンジニアリング委員会

メインテーマ

「手術支援ロボットと臨床工学—各種ロボットの特徴とCEの臨床実務の実際—」

プログラム：企画 瀬島 啓史（東京科学大学病院 MEセンター）

（敬称略）

13:00～13:10 開会の挨拶

1. 13:10～13:40（講演25分、QA5分）

外科ロボット運用と安全を支える臨床工学技士の役割

山田 二三歩（横浜市立大学附属病院）

2. 13:40～14:40（各20分）

外科用手術支援ロボット：メーカーセッション

①Da Vinci サージカルシステム 導入時確認事項とシステムサポート

鈴木 雄太郎、山野 貴彦（インテュイティブサージカル合同会社）

②手術支援ロボット hinotori™における

ME業務デザインとリスクマネジメント

松本 潤（シスメックス株）

③Saroa サージカルシステムの強みと運用ポイント

谷口 綾子（リバーフィールド株）

休憩（14:40～14:50）

3. 14:50～15:10（講演20分）

整形外科ロボットにおけるCE業務

瀬島 啓史（東京科学大学病院 MEセンター）

4. 15:10～15:50（各20分）

整形外科領域 手術支援ロボット：メーカーセッション

①整形外科手術用ロボットにおける運用の考え方

— Mako システムと臨床工学的視点 —

山下 裕大（日本ストライカー株）

②弊社が提供する脊椎外科領域でのロボティックサージェリー

山本 功（日本メドトロニック株）

15:50～16:20 総合ディスカッション

- ・導入初期に CE が直面しやすい課題
- ・外科／整形ロボットにおける CE 業務の共通点と相違点
- ・メーカーと CE の連携の在り方

16:20～16:30 閉会の挨拶 加藤 伸彦

○問合せ先

一般社団法人日本医療機器学会事務局・池野谷まで (E-mail: ikenoya@jsmi.gr.jp)